

治療共同体研究会 2015年3月27日
@国立精神・神経医療研究センター

ヨーロッパ治療共同体大会：
包括的モデルの取り組み

15th Conference of the European Federation of
Therapeutic Communities:
Promoting an Integrated Model

井上智恵
立命館大学大学院
社会学研究科
博士後期課程2回生

スペイン南部 アンダルシア州マラガ県



スペイン南部 アンダルシア州マラガ県



オープニング・セレモニー



ヨーロッパ治療共同体大会

会期：2015年3月11日～14日

会場：Diputación de Málaga（マラガ市民会館）

参加者：約400名

発表数：78報告

発表者の国籍：スペイン、スコットランド、イギリス、オランダ、ギリシア、フランス、ベルギー、イタリア、アイルランド、フィンランド、オーストリア、チェコ共和国、イスラエル、コロンビア、チリ、米国、オーストラリアなど。

使用言語：スペイン語または英語（同時通訳有）

プログラムから見るキーワード

- ・今日の治療共同体
- ・重複障害
- ・女性
- ・処方薬
- ・若者
- ・コミュニティ
- ・セラピスト養成研修
- ・治療的-教育的プログラム
- ・ハームリダクション(害の縮小) など
- ・評価と課題
- ・エビデンスベース
- ・刑務所
- ・社会復帰
- ・ファミリー・サポート
- ・ジェンダー

今日の治療共同体

- ・視点 : Rehabilitation (リハビリテーション) から
Rehumanization (人間性) の回復へ
- ・問題 (Cause) が、現状の生活に与える影響 (Consequence) の分析 ⇒ MBPS によるアプローチ
- ・治療共同体は、社会的文脈に見合ったものでなければ意味がない。
例) 携帯電話、インターネットなどの扱い方。

治療共同体を柔軟に展開していくには、社会的状況を敏感に察知すると同時に、利用者の特徴についても分析する必要がある！

治療共同体のあり方

- 治療共同体の規模は大小可能。
Gorge De Leon氏いわく、約60～80名が理想。
- 治療共同体の入所期間：90日～6カ月
 - 入所期間に応じた目標を定めること
 - 長期間の入所がよいとは限らない など。
- アディクションだけでなく重複障害など、多様な特徴を持つ利用者が治療共同体と一緒にプログラムを受けることに問題はない。但し、問題に特化したプログラムを設ける必要がある。

生理的・心理的・社会的モデル (MBPS)について

米国の傾向 BPSSモデル:

生理的 - 心理的 - 社会的 - スピリチュアル

ヨーロッパの傾向 BPSE or BPSPモデル:

生理的 - 心理的 - 社会的 - 実存的 (Existential)
人 (Person)

プロジェクト・オンブレにおける用語の変化

従来

「アディクト (Adicto)」

「薬物依存者 (Drogodependiente)」

今日

「薬物(アディクション)問題を抱える人

(Persona con Problema de Drogas o Adicciones)」

※今日の利用者の特徴は変化している。しかし、スペイン国民が抱く依存者のイメージが、1970年代後半のヘロイン依存者のイメージのままである。そのイメージを払拭したい思いがある。

米国の治療共同体研究者 Gorge De Leon 氏



本にサインをもらいました☆感動的な瞬間☆

2015年3月12日 17:00 ~ 18:30@Room CANILLAS

分科会 : Gorge De Leon氏との会談

<The TC going forward: a conversation with Gorge De Leon>

Gorge De Leon氏 (米国)

Rowdy Yates (EFTTCの会長、スコットランド)



私からの質問

質問の内容:

米国の治療共同体では、12のステップを活用しているところがある。治療共同体で12のステップの使用は受け入れられるものなのか、有効であるのか。

※Rowdy Yates氏は12のステップの使用について批判的な立場であることから、回答を控えた。そのため、Gorge De Leon氏が丁寧に回答してくれた。

回答:

治療共同体で12のステップを使用しているところがある。施設を出た時に、AAやNA等の自助グループに繋げる必要のあるケースがあるため、12のステップを説明している。しかし、治療共同体では、**12のステップがプログラムの中心にならない**。12のステップは**プログラムの一部**にすぎない。

プロジェクト・オンブレ 研究者およびセラピスト





プロジェクト・オンブレ協会
事務局長：フランシスコ
研修責任者：ヨアナ

米国アミティのメンバー



ご清聴ありがとうございました。



詳しい内容を知りたい方は、下記の大会ホームページをご覧ください。(スペイン語 or 英語)

ヨーロッパ治療共同体大会HP

<http://eftc-congressmalaga2015.com/en/programme/>